

家庭でもやろう！『キャリア教育』

☑チェックしてみよう！ お子さんの生活

《朝、起きてから・・・登校まで》

- 朝、一人で起きる (or 起こされたらすぐに起きる)
- 顔を洗ってタオルでふくことができる
- あいさつができる (「おはよう」)
- 着替えが一人で正しくできる
- 学校の支度が一人で正しくできる
- 毎日、朝ご飯を欠かさず食べる
- 正しいマナーで食事ができる
- 食事の後は歯を磨き、口をすすぐことができる
- 出かける前に一人でトイレをすませることができる
- 学校に行く前にあいさつができる (「行ってきます」)
- 学校を休んだり登校を嫌がったりしない

《登下校・・・》

- 近所の方や知っている方にあいさつができる
- 車などに気を付けて、右側を歩くことができる
- 信号を見て正しく渡ることができる
- バスや電車に一人で乗ることができる

《帰宅してから・・・》

- 靴を脱いでそろえることができる
- 帰ったらあいさつができる (「ただいま」)
- 外から帰ったら手洗いやうがい自主的にできる
- かばんから荷物を出して一人で片付けることができる
- 自分で服を選ぶことができる
- 一人で正しく着替えることができる

- 一人で時間を過ごせる楽しみ (趣味) がある
- 一人で家事労働 (お手伝い) ができる
 - 掃除機をかける
 - トイレやお風呂などの掃除をする
 - 洗濯機を使って洗濯をする
 - 洗濯が終わった衣服を畳んで片付ける
 - 食事の準備や片付けをする
- 進んで家族の手伝いができる
- 好き嫌いせず何でも食べる
- 正しいマナーで食事ができる
- 食事の後は歯を磨き、口をすすぐことができる
- 一人で風呂の用意 (下着やパジャマの準備) ができる
- お風呂で身体をきれいに洗うことができる
- お風呂から出たら自分で体をふくことができる
- 寝る準備を自分ですることができ
- 夜更かしをしないで早めに寝る

上のチェックポイントも参考にしながら、日々のお子さんの生活を見直してみましよう。

§ ご相談ください・・・§

お子さんの実態に応じて指導プログラムなどを作成し、指導方法をご提案します。ぜひご相談ください。

発行：愛媛大学教育学部附属特別支援学校
〒790-0855 松山市持田町1丁目5-2 2
Tel 089-913-7891 Fax 089-913-7892
<http://www.ehime-u.ac.jp/~fuyou/index.html>

愛大特支 検索

E-mail tokushi@em.edc.ehime-u.ac.jp

愛媛大学教育学部附属特別支援学校

知的障害のある子どもの キャリア教育

～「働く生活」を実現するための

確かな『連携』を目指して～



キャリア教育とは・・・

子どもたちの勤労観・職業観を育て、将来、社会人・職業人として自立していく上で必要な力や態度を育む教育です

- 勤労観は、生活意欲を高め、自分の役割を主体的に果たし、貢献していく生活を積み重ねることです。
- 職業観は、働く意欲を高め、社会自立・職業自立に必要な生きていく力を身に付けることで育ちます。

勤労観・職業観を育てるために

～学校の全ての教育活動の中で育てます～

1 生活意欲を育てる

一人で基本行動が正しく・確かに・意欲的にできるようにする。

※「基本行動」とは、「基本的生活習慣」「日常生活や社会生活において最低必要な基本的な内容（あいさつ・返事・要求・マナーなど）」で、生きていく上で必ず身に付けておかなければならない行動

2 働く意欲を育てる

家庭生活、学校生活、地域生活、職業生活の中で役割を果たし、貢献し、周りから認められる喜びや達成感をもてるようにする。

3 社会に通用する力を育てる

自分のことは自分でできるようにする。小学部低学年から社会で通用する力に結びついていくかどうかを考えながら指導する。

「家庭生活」が重要！

～保護者の皆様へ～

● 基本行動を身に付けよう！

基本行動を確立することは、将来お子さんが社会人として生きていくための基本となるものです。家庭で、朝起きてから夜寝るまでの基本行動が、一人で正しく確かにできるようにしましょう。



● 家庭で役割を果たそう！

年齢に応じた家事労働（小学部の場合は「お手伝い」）を分担し、自分の役割を最後まで正しくやり遂げるようにしましょう。家族の一員として役割を果たし、貢献する喜びや達成感が将来の「働く生活」の基になります。



● 社会で通用する力を身に付けよう！

社会に通用するきまりやルール・マナーを身に付けるようにしましょう。人が人として生きていく上で必要な「当たり前のことが当たり前」できるように小学部低学年のときから身に付けましょう。



「連携（つながり）」も重要！

～地域・関係機関の皆様へ～

知的障害のある児童生徒のキャリア教育を推進するためには、学校と地域・関係機関が連携・協力することが大切です。

＜企業、施設・事業所等の皆様方へ＞

☆ 職場見学や「産業現場等での実習」、インターンシップ等の実施にご協力ください。

＜地域、関係機関の皆様方へ＞

- ☆ 地域行事等への受け入れにご協力ください。
- ☆ 地域での生活体験活動（交通機関・地域施設等の利用等）の見守りと支援をお願いします。
- ☆ 児童生徒の様々な問題や課題の解決や、よりよい生活の実現にお力添えをお願いします。

